

上海市の高齢化社会の現状について

上海産業情報センター

横江 隆弘

中国では、今猛スピードで高齢化が進んでいることは、昨年10月のレポートですでに報告したとおりです。今回は、上海市についての現状とその対応策について、高齢者施策の現場の様子を含めて、考えてみたいと思います。

1 上海市の高齢化の現状

上海市民生局によると、2012年末の上海市の人口高齢化の現状は次のようになっています。上海市の65歳以上の高齢者人口は、245.27万人で全人口の17.2%になっています。(上海市の人口は、2012年上海市統計局のデータによると、戸籍人口1426.93万人であり、常住人口2380.43万人となっています。)

世界主要国の人口高齢化状況(65歳以上人口比率:国際医療健康福祉協会による)をみてみますと、日本が23.3%、スウェーデンが17.8%、イギリスが16.1%、アメリカが12.8%、そして中国が9.1%となっています。これらと比較してみると、上海市の高齢化はかなり進んでいるということがわかります。

また、上海市の80歳以上の高齢者は、67.03万人であり、人口の約4.7%を占めており、さらに100歳以上の高齢者は、1251人いらっしゃるということです。100歳以上の高齢者は、10万人当たり8.8人いる計算となり、世界基準によると7人を超えると高齢化地域ということになるそうですので、この観点からも、上海市はその域に達しているということになります。

因みに、上海市の平均寿命は、82.41歳で、男性が80.18歳、女性が84.67歳となっています。

2 上海市の高齢者ケアの現状

上海市は、高齢者ケアにおいて、「9073」という計画を掲げています。この計画は、高齢者の90%を家庭でケアして、7%を訪問ケア・食事サービスなどを含む地域在宅ケアで対応して、3%を施設ケアで対応していこうというものです。

施設ケアにおいては、2012年末で上海市の高齢者ケア施設は、631施設で、ベット数は10万5200床になっているということです。公立施設の上海第一福利院などのほか、民間施設の金色港湾、紅日家園などがあります。施設ケアは、要介護度の高い人及び年齢の高い人が優先的に利用できるようになっており、現在入居者の平均年齢は、85.2歳であり、入居最年長者は、107歳の方だそうです。

次に、地域在宅ケアについてですが、3つの組織により構成されています。

①地域高齢者サポート社(社区助老服務社)で、訪問サービスを対応、②高齢者デイサービスセンター(老年人日間服務中心)で、デイケアを対応、③高齢者食事サービス所(老年人助餐服務点)で、食事サービスを対応して、高齢者の生活サポート、リハビリ、心理ケアなどのサービスを提供しています。

現在、上海市には、①地域高齢者サポート社が 231 ケ所あり、②高齢者デイサービスセンターが 313 ケ所あり、③高齢者食事サービス所は、492 ケ所あります。また、それぞれの利用者は、①の訪問サポートの利用者が、20.7 万人で、②のデイケアの利用者が 1.1 万人で、③の食事サービスの利用者が 5.4 万人でケア対象者の合計は、27.2 万人です。中国には、現在介護保険制度がありませんので、対象者の約半数は、低所得者として政府からの補助金を受給しています。このうち、80 歳以上の補助金助成対象者は、7.7 万人を占めているそうです。

現在、上海市は、2011 年－2015 年までの 5 カ年計画の主要目標により、高齢者ケア用ベット数の増加(目標 12 万 5000 床)、公立高齢者ケア施設カバー率の増加(各区各町に 1 か所ずつ設置)、地域在宅ケア対象者数の増加(目標 30 万人)を達成しようと努力されているところです。もちろん民間の老人ホームの設立も推奨されています。

さらに、上述したように、全国的な介護保険制度がないことから、福祉政策に充てられる限られた資源を利用介護度の高い人に集中したいという方針があり、要介護状態であるかどうかを判断する評価制度と高齢者の身体状況を評定して(重度・中度・軽度・正常の 4 段階)、ケアニーズを区別して、相応のサービスを提供していくという評価制度も採用されているところです。

3 上海市の高齢者施設の現状

(1) 上海市浦東新区塘橋社区老年服務中心

このサービスセンターは、敷地面積約 2600 平米で、現在 1500 名ほどの介護程度が中級程度以下のほぼ自立した高齢者にデイケアサービスとして、生活ケアサービス・文化活動サービス・リハビリ治療サービス等を提供しています。サービスを受けられる対象の高齢者は、塘橋社区地域約 3.4 平方^{km}に居住する 60 歳以上の高齢者で、対象者としては約 5000 名程度の方がいらっしゃるということです。

現在 63 名のスタッフで対応されており、スタッフはすべて有資格者がそれぞれのサービスに対応されており、デイケアサービスのほか、派遣サービスもあり、1 人暮らし高齢者約 800 名のメンタルケアなどに対応されています。

サービスの利用は、申請後、医師の診断があり、サービスメニューの選択を行うことになっています。

現在、浦東新区には、8 か所の同様の施設がありますが、将来的にはコミュニティ毎に 1 か所の施設を設置するようしていく計画があるそうです。



デイセンターのある社区入り口



デイセンターの玄関 外観



デイセンターの玄関



デイセンターの食堂



デイセンターの高齢者



デイセンターの高齢者

(2) 親和苑(民間高齢者マンション)

日本の有料老人ホームというイメージに近いのではないかと思います。現在一人当たり98万元の会員権を購入した上で、1年間の管理費3万元から7万元を支払って入居する形になっています。管理費の違いは、居住する部屋の大きさにより異なり、3段階に分かれています。

8.5ヘクタールの敷地に、16棟の高層マンションがあり、事務管理棟の他、家族が来訪してきたときに利用するホテル棟、病院・リハビリ施

設棟、食堂・レストラン棟があり、そして住居棟が立ち並んでいます。

住居棟には、834戸が用意されており、現在約7割近く、約1200名の方が入居されているそうです。

ある入居されている方にお伺いしたところ、入居についての決断は、自分でいろいろな施設を見て回って自分で判断されたとのことで、現在兄妹の3名で入居しているので全く寂しくないし、快適であるとのことでした。欲を言えば、街から少し離れているのが不便であるが、ここにいれば何も心配いらないので問題はないとのことでした。



マンション外観 1



マンション外観 2



マンション通路



マンション内食堂



マンション内部 1



マンション内部 2



マンションに居住されている方

上海産業情報センターでは今後もこれらの状況に注視していきたいと考えております。